

新聞読んだ 考えた

2025年10月5日付2面／「ワークライフバランス捨てる

高市氏自民議員に宣言 自民党新総裁に就いた高市早苗氏が、選出後の所属議員向けのあいさつで、「全員に馬車馬のように働いてもらう。私自身もワークライフバランスという言葉は捨てます。働いて、働いて、働いて、働いて、働いてまいります」と宣言し、各議員に奮起を促した。

八戸学院光星高校3年

田中 千波さん

仕事と生活バランスよく



この記事を読んで、「ワークライフバランスを捨てる」という言葉を聞き、とても違和感を覚えた。政治家は国のために一生懸命働くことが大事だが、だからといって自分の生活を犠牲にするのはよくないと思った。最近では長時間労働や過労死が問題となる中、政府も「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）憲章」を策定しているの

に、リーダーがそれを否定するようない方をするのは少し矛盾しているなど感じた。一方で「国民のために頑張りたい」という気持ちはすごいと思う。私は将来、社会に出て働くときに、仕事と自分の時間の両立

を大切にしたい。働くことは大事だが、心と体を壊してしまっ
ては意味がない。だからこそ、
仕事も生活もどちらも大切にで
きる社会になってほしいと感じ
た。そしてリーダーたちが率先
して休みを取ったり、働き方を
見直したりしたら、国民も変わ
ると思う。私も将来のために、
働くことの意味を考えていきだ
い。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです